

Patrick DSP's Sequential Pro 3 Cheat Sheet

Sequential Pro 3 · OS 1.2 · 2026年10月28日

1.1 OS 1.1.0.0 で追加 **1.2** OS 1.2 で追加

目次

基本とシステム

はじめに：全体像	セットアップとプログラム
グローバル設定	トラブルシューティングとメンテナンス

アルペジオとシーケンサー

アルペジエーターとクロック	シーケンサー
---------------	--------

サウンドデザイン

オシレーターとミキサー	フィルター
エンベロープ	LFO
モジュレーション・マトリクス	エフェクトとフィードバック
サウンド・レシピ	

パフォーマンス

パフォーマンス・コントロール	パッチ・モーフィングとプレイリスト
----------------	-------------------

外部機器と MIDI

外部オーディオと CV	MIDI リファレンス
-------------	-------------

はじめに：全体像	↑ 目次
----------	----------------------

最初にお読みください。Pro 3 の構成、信号の流れ、モジュレー

ションの仕組みを説明します。

シグナルフロー

Osc 1、Osc 2、Osc 3、ノイズ、Audio In > ミキサー
> フィルター > アンプ (VCA)。ディストーション、
チューンド・フィードバック、2つのエフェクトも搭載
Osc 1 と 2 はアナログ。Osc 3 はデジタルのウェーブ
テーブル・オシレーター

フィルターは3種類：Low-Pass 1、Low-Pass 2、
State-Variable

エンベロープ4基 (フィルター、アンプ、aux 1、aux
2)、LFO 3基、モジュレーション・スロット32個、16
トラック・シーケンサー、アルペジエーター

初期状態はモノ。パラフォニック：3音。デュオフォ
ニック **1.1**：2音

コントロール

主要パラメーターはフロントパネルで操作。ノブを回
すと追加のタブがディスプレイに表示

ソフトノブ4個とソフトボタン4個でディスプレイのタ
ブを編集

SHOW を押してノブを回す：値を変えずに確認

SOURCE を押しながらコントロールを動かし、続けて

DESTINATION を押しながらコントロールを動かす：素
早いモジュレーション・ルーティング

メモリー

プログラム1024個：128個ずつ8バンク。U1～U4 は
ユーザー、F1～F4 はファクトリー。保存先はユーザー
バンクのみ

ファクトリー・プログラムにはすべてシーケンスが
入っている。**PLAY** を押す

セッアップとプログラム

[↑ 目次](#)

シンセの接続、プログラムの選択、比較、保存、ゼロからの音作りの開始時に読みます。

リアパネル

USB：クラスコンプライアントMIDIのみ、オーディオなし。MIDI In と USB は同時に使わない

MIDI：In、Out 1、Thru、Out 2

フットスイッチ：サステインまたはアルペジオ・ラッチ。ペダル：エクスプレッション、TRS

CV In 1~4、CV Out 1~4：3.5 mm、0~10 V、1 V/オクターブも可

Gate Out：3.5 mm、10 V。Audio In：アンバランス、6.35 mm。Audio Out L と R：アンバランス、6.35 mm

編集と保存

COMPARE：保存済みバージョンを聴く。オンの間は書き込み不可

保存：**WRITE**、名前、**WRITE**。別のスロット：

WRITE、先に U1~U4 のスロットを選ぶ

保存の取り消し：**GLOBAL**。保存先の試聴：**WRITE**、**COMPARE**、バンクとプログラムのノブ

起動時のプログラム：選んでから **GLOBAL** を2回押す

Basic program：**GLOBAL** > basic program >

SOFT BUTTON 1。ショートカット：**TRANPOSE DOWN**

+ **LATCH**

ボイスモード

パラフォニック：**PARAPHONIC**、3つのオシレーター・レベルをすべて上げる。フィルターとフィルター・エンベロープは共有

デュオフォニック **1.1**：Osc 1 と 2 を上げ、**PARAPHONIC**、Osc 3 の **LOW FREQ**。Osc 3 は LFO になる

オシレーターとミキサー

[↑ 目次](#)

波形の選択、オシレーターのチューニング、レベル設定、カスタム・ウェーブテーブルの読み込み時に読みます。

オシレーター

Osc 1 と 2：トライアングル、ソー、パルス。Shape Mod はパルス幅、0 でスクエア

Osc 3：サイン、ソー、スーパーソー、パルス、続いてウェーブテーブル 1~32 (カスタム 33~64 **1.1**)。1 テーブル16波形、Shape Mod でスキャン

スーパーソー：Shape Mod がデチューン量

Pitch：-700~+699 (7半音)。Octave：5オクターブの範囲

Sync (Osc 1 と 2)：ハードシンク。Low Freq (Osc 3)：オシレーターが LFO になる

タブ：Tuning (Frequency、Fine Tune、Sync、Key Follow)、Shape (Shape、Shape Mod、Wave Reset、Osc Slop)、Level、Misc (Glide Rate)

Wave Reset：オンで音ごとに波形を再スタート。オフはフリーラン

Osc Slop：0~127 のランダムなデチューン

ミキサー

Osc 1、2、3、Noise、Ext Audio : 0~127。少なくとも1つは上げる

Ext Audio のタブ : Input Level、Input Gain、In Gate Thresh (0~127)、Input Attack (0~15)、Input Release (0~127)

カスタム・ウェーブテーブル 1.1

スロット 33~64。単一サイクルの波形を16個作る : 16 bit、48 kHz、1024サンプル、同じ長さ、両端でゼロクロス

www.sequentialwaves.com でテーブルを作成 (名前は最大8文字)、SysEx を保存

GLOBAL > MIDI tab > midi sysex cable = usb、SysEx Librarian または MIDI-OX で送信

フィルター

[↑ 目次](#)

フィルター・タイプの選択と、*cutoff*、*resonance*、*drive*、フィルター・エンベロープの設定時に読みます。

タイプ

Low-Pass 1 : 4ポールOTA、24 dB/オクターブ、自己発振する

Low-Pass 2 : 4ポール・ラダー、24 dB/オクターブ、自己発振する。Ladder Res Comp で低域を保つ

State-Variable : 2ポールOTA、12 dB/オクターブ。LP、Notch、HP (State ノブ)、BP ボタン。自己発振しない

パラメーター

Cutoff : 0～1019。Resonance : 0～255。Drive : 0～127

Key>LPF Freq : 0～127、キートラッキング。127 で半音単位に追従

SV のデスティネーション : sv lp-n-hp (モード)、sv norm-bp

フィルター・エンベロープ

Delay、Attack、Decay、Sustain、Release : 0～127

Amount : -127～+127、マイナスで反転。Velocity はオンまたはオフ

Loop : キーを押している間、delay、attack、decay を繰り返す

エンベロープ

[↑ 目次](#)

アンプと aux のエンベロープで音量とモジュレーションを時間的に整えたい時に読みます。

4基共通

Delay、Attack、Decay、Sustain、Release、0～127。Velocity はオンまたはオフ。Loop (aux で繰り返し)

どのエンベロープもモジュレーション・ソースにできる

アンプ

Env Amount : 0～127。Volume : プログラムごとに0～127 (VCA タブ、**SOFT BUTTON 1**)

Gated VCA : amp amount を 0、LFO のスクエアを env vca amt に 127、音を押さえ続ける

Aux 1 と 2

Amount : -127～+127。Destination : 任意 (Aux Dest タブ)

クイック・アサイン : **AUX ENV** を押しながらノブを回す

LFO

[↑ 目次](#)

ビブラート、トレモロ、ワウなどの周期的なモジュレーションが必要な時に読みます。

パラメーター

波形 : トライアングル、ソー、リバーソー、スクエア、S&H。トライアングルと S&H はバイポーラー

Frequency : 0～150 (0.022 Hz～500 Hz)。

Amount : 0～127。Sync でクロックにロック

Slew Rate : 0～127。Phase : 0～127 (Wave Reset オンが必要)。Wave Reset : 音ごとに再スタート

クイック・アサイン : LFO セレクターまたはデスティネーション・ボタンを押しながらコントロールを動かす

Osc 3 の **LOW FREQ** でウェーブテーブル LFO になる

モジュレーション・マトリクス

[↑ 目次](#)

ホイール、スライダー、ペダル、CV を含む任意のソースを任意

のデスティネーションヘルーディングしたい時に読みます。

使い方

SOURCE > **SOFT KNOB 1** スロット > **SOFT KNOB 2**
ソース > **SOFT KNOB 3** 量 > **SOFT KNOB 4** デスティ
ネーション

スロット32個、ソース46個とオフ、デスティネーション171個とオフ。量はプラスまたはマイナス

並べ替えタブ：スロット、ソース、デスティネーション

ソース

Osc 1〜3、Noise、LFO 1〜3、Env LPF、Env VCA、
Env Aux 1、Env Aux 2

Pitchbend、Mod Wheel、Slider、Pressure、
Breath、Foot Pedal、Expression Pedal、Velocity、
Note Number

Random、DC、Audio Out、Audio In、Env Follow、
Peak Hold、CV In 1〜4、Seq Track 1〜16

デスティネーション

Osc の coarse と fine freq、shape (Osc 1、2)、
shape mod、slop、level。Osc 3 の shape 項目はない

Noise、ext audio level、drive、cutoff、
resonance、sv lp-n-hp、sv norm-bp

Feedback の amount と tune、distortion、パンニング、
FX 1 と 2 の mix と params 1〜3

LFO の freq と amt。エンベロープの amt、attack、
decay、release。Mod 1〜32 の amount

CV 1〜4 out、CV 1〜4 trig out、MIDI 1 と 2 の note
と CC、チャンネル 1〜16

エフェクトとフィードバック

[↑ 目次](#)

ディレイ、コーラス、リバーブ、ディストーション、チューンド・フィードバックが必要な時に読みます。

エフェクト

2スロット。 **EFFECT 1** または **EFFECT 2** でオン、**SHOW EFFECTS** で開く、もう一度押して切り替え。
Mix 0～127

ステレオ・ディレイと BBD ディレイ：time、feedback、lpf cutoff

コーラス：depth、rate、lpf cutoff。フランジャーとフェイザー：depth、rate、feedback

HP フィルター：frequency、resonance。リングモジュレーター：frequency、track、shape

ロータリー・スピーカー：drive、speed、マイク距離。スーパープレート・リバーブ：time、tone、pre-delay (Effect 2 のみ)

フランジャーと HP フィルター：mix は 127 で使う
ディレイ・シンク：time が音符単位になる。最大約1秒、それより長い値は半分になる

パンニングをモジュレートするとステレオ・ディレイがピンポンする **1.1**

ディストーションとチューンド・フィードバック

Distortion：0～127

Feedback Amount：-127～+127。Tuning：0～48 (C0～C4)。Grunge：高レベルで極端

パフォーマンス・コントロール

[↑ 目次](#)

グライド、ホイール、スライダー、アフタータッチ、ホールド、トランスポーズ、キー優先を扱う時に読みます。

鍵盤とホイール

Transpose : オクターブ・シフト、グローバル、プログラムには保存されない。Hold : 音をラッチ

Glide : ボタンをオン、レートはオシレーターごと (rate 0 はオフ)。モード : FixRate (初期値)、FixRate A、FixTime、FixTime A。A モードはレガート音のみグライド

ピッチホイール : 範囲は上12、下24半音。

MISC PARAMS > SOFT BUTTON 3

モジュレーション・ホイール、タッチ・スライダー (latch で値を保持)、アフタータッチ (ソースは pressure、カーブ4種) : モジュレーション・マトリクスでルーティング

キーモード (misc params)

Key Mode : 最低音、最高音、最後の音。Retrigger はオンまたはオフ

Gate Source : Keyboard または Ext Audio。Scale : プログラムごとのチューニングまたは Use Global

パッチ・モーフィングとプレイリスト

[↑ 目次](#)

2つのプログラム間のモーフや、ライブ用のプログラム整理をしたい時に読みます。

パッチ・モーフィング 1.2

MISC PARAMS > SOFT BUTTON 4 の morph タブ

Soft Knob 1：コントローラー。2：パラメーター・セット (初期値 all - freq)。3 と 4：ターゲットのバンクとプログラム

WRITE で保存。ターゲットの編集：**COMPARE**、編集、**WRITE**、**COMPARE**

モーフしないもの：オン/オフ・スイッチ (Osc 1 と 2 の sync を除く)、セレクター、シーケンサー、misc、モジュレーション・ルーティング

エフェクト・パラメーター、ウェーブテーブル位置、フィルター設定は、両方のプログラムが同じエフェクト、ウェーブテーブル、フィルターを使う場合のみモーフする

プレイリスト

10セット、各4リスト、各4プログラム。**PLAY LIST**、Soft Knob 4 でセット、Soft Knob 3 でリスト、Soft Button 1～4 でプログラム

リストはプログラムを参照するだけなので、プログラムを編集するとどこでも変わる

プレイリスト中もコントロールは有効 **1.1**。バックアップは dump playlists

アルペジエーターとクロック

[↑ 目次](#)

アルペジオ、テンポ、divide、スウィング、MIDI クロック設定が必要な時に読みます。

アルペジエーター

ARPEGGIATOR をオン、音を押さえる、**HOLD** でラッチ

Mode：Up、Down、Up + Down、Random、Assign。Octave Range：1～3。Repeats：1～3

Relatch : オンで新しい音を弾くとアルペジオが再スタート

アルペジオとシーケンサー : sequencer mode を trigger に、ノート・トラックは無視、パラメーター・トラックは再生

Footswitch function (グローバル) : sustain、arp hold、arp hold mom

MIDI ノート出力 : GLOBAL > midi arp/seq notes (シーケンサー Track 1 も [1.1](#))、続いて midi out select

クロック

BPM : 30～250。タップテンポ : 4回タップ。
Swing : 50 パーセント～75 パーセント

Divide : Half、Quarter、8th、8 Trip、16th、16 Trip、32nd、64th

Clock mode (グローバル) : off、master、slave、slave thru、slave no s/s。OS 1.1.0.0 のメニューでは Out と In [1.1](#)

クロックがない slave モード : アルペジオとシーケンサーは動かない

外部クロック : clock mode と clock cable in を設定し、**PLAY** を押して、マスターをスタート

シーケンサー

[↑ 目次](#)

ノート録音、パラメーターのオートメーション、フレーズのチェーン、シーケンスのコピーをしたい時に読みます。

概要

16トラックと、16ステップずつの連結可能な4フレーズ A から D。連結すると最大64ステップ

ステップごと: ノート、ベロシティ、デュレーション、ラチェット (1から8)、休符またはタイ

トラック1はオシレーターのピッチ (ノート) に固定接

続。パラフォニック: トラック1、2、3は Osc 1、2、3。トラック4から16は任意のモジュレーション先へ送れる

モジュレーション用途: トラックを cutoff、resonance、ノイズレベルなどに送り、ドラムのようなアクセントを付ける。ステップごとに異なる値を設定できる

工場出荷時のプログラムにはすべてシーケンスがある。プログラムを呼び出して **PLAY** を押す

保存: プログラムを保存 (**WRITE** を2回)。シーケンスも一緒に保存される

ステップ LED 1から16の下に印刷: notes/vel、duration、ratchet、cutoff、assign 1から8、CV out 1から4

テンポ、Divide、Swing はアルペジエーターと共通。アルペジエーターとクロックを参照

再生モードとトランスポート

Mode ボタン: Normal、Gated、Trigger

Normal: **PLAY** を押すと開始

Gated: 鍵盤を押している間だけ再生。Restart on は鍵盤を押すたびにステップ1から開始。Off は止まった位置から続行

Trigger: 鍵盤を押すたびに1ステップ進む。アルペジエーターで駆動することも可能。外部のオーディオ、MIDI、CV トリガーでも可

Trigger とアルペジエーター: arp をオンにしてコードを押さえる。ノートトラックは無視され、パラメータトラックだけが再生されるので、アルペジオにシーケンスされたフィルタスイープを加えられる

方向: fwd、rev、fwd/rev、random。 **RESET**: ステップ1から再開、再生中も可

テンポ: BPM 30から250、 **TAP TEMPO** (4回タップが最適)。外部 MIDI クロックに同期中は BPM は効かない。Divide は内部と外部のクロックで動作

演奏中のトランスポーズ: 真ん中のドより上か下の鍵盤を押す。真ん中のドは録音どおりに鳴る。

Transpose ボタンで範囲が広がる

ノートの録音

アタックが鋭くリリースが短いプログラムを選ぶ

RECORD を押す。デフォルトではフレーズ A が選択されている。ステップごとに1音ずつ演奏する

ステップ LED: 白は現在のステップ、赤は録音済みのノート、消灯は休符または空

16ステップ未満: 欲しい音だけ弾く。16を超えたノートは無視される

音を間違えた: **RECORD** をオフ、オンにして弾き直す

上書き録音: **RECORD** を押して新しいノートを弾く。

PLAY で確認

停止中のクイックステップ編集: ステップ LED を押さえてノートを弾く。ノートとベロシティが更新される。押さえている間は他のステップパラメーターも編集できる

休符、タイ、ベロシティ

録音中の休符: 休符を入りたいステップの LED を押す。連続した休符は、後ろのステップ LED を押す

後から休符: エディターでステップ LED をオフにする。アスタリスクが表示される。オンに戻すと元に戻る

録音中のタイ: ノートを弾き、そのステップ LED (赤) を押さえ、タイが終わるステップの LED を押す

後からタイ: トラックを表示し、開始ステップ LED を押さえ、終了ステップ LED を押す。タイになったステップは暗く表示される

エンベロープの設定とデュレーションパラメーターは、タイしたノートの持続に影響する

ベロシティは各ノートと一緒に録音され、エディターで編集する

シーケンスエディター

TRACK SEL でエディターを表示。押さえたままステップ LED を押すとそのトラックを表示 (ステップ1はトラック1、以下同様)。離すと編集できる

ノブ1: ステップ。ノブ3: トラック1ではノート (C0 から G10)、モジュレーショントラックでは値 (1から 127、多くは -127 から +127)

ベロシティ: **SOFT BUTTON 1**、ノブ4、1から127。左いっぱいでは休符になる

デュレーション: **SOFT BUTTON 2**、ノブ4。低いとスタッカート、高いとレガート

ラチェット: **SOFT BUTTON 3**、ノブ4。1ステップあたり1から8回の繰り返し。各リピートを聴くにはエンベロープとデュレーションを調整する

ベロシティを編集できるのは、ノートトラックか MIDI Out 1 または Out 2 に送るトラックだけ

MIDI トラックがノートオフしか送らない: ベロシティを確認する。ベロシティ0はノートオフだけを送る

パラフォニック:トラック2と3もノートトラックになる

編集後の保存: **WRITE** を2回

フレーズ A から D と拡張シーケンス

A、B、C、D を押してフレーズを録音または選択する。再生中でもライブでフレーズを切り替えられる

16ステップより長くする: **ARPEGGIATOR** でシーケンサーメニューを表示 (arp がオンなら再度押す)、

SOFT BUTTON 3 seq modes

ノブ1: extended。ノブ2: 長さ、最大64。通常どおり録音すると、ステップ16の後にフレーズ LED が進む

パラフォニックシーケンス

3つのオシレーターをすべて同じミキサーレベルにし、おそらく同じオクターブにする

PARAPHONIC、**SOFT BUTTON 2** seq params、ノブ4で para seq on

RECORD を押し、最大3音のノートやコードを弾く。トラック1、2、3にそれぞれ1音ずつ入る

モジュレーショントラック

ライブ: 再生中に **RECORD** を押さえ、フロントパネルのノブを動かす。ノブごとに4から16の空きトラックが使われる

シーケンサーはループしながら録音を続けるため、動きが上書きされることがある。ループポイントに注意

ステップごと、例: トラック4の cutoff: **TRACK SEL** を押さえてステップ LED 4 (またはノブ1) を押し、押さえたままノブ4を cutoff に回して離す

次にノブ1でステップを選び、ノブ3で値を設定。ステップごとに繰り返す

クイックデステーション: **TRACK SEL** を押さえ、そのトラックに送りたいフロントパネルのノブを回す
インタラクティブステップ編集 **1.1**: **RECORD** をすばやく2回押す (点滅する)。ステップを押さえると音が聴ける。押さえたままノブを回して離す。ノブを増やすほど多くのトラックに録音される。 **RECORD** で終了

長さの異なるトラック: seq params メニューで sync to track 1 をオンにすると、トラック1がステップ1を再生するとき全トラックが再開する

Slew: トラックを表示して **SLEW** を押す。ステップをグライドやスワイプになめらかにつなぐ。トラックごとに設定

トラックの出力先には、MIDI 1 と MIDI 2 のノートと CC、USB のノートと CC **1.1**、CV 1から4 out と trig out がある

コピー、ミュート、消去

トラックのコピー: シーケンスを選び、 **TRACK SEL** を押さえ、 **SOFT BUTTON 2** copy track、コピー元トラックのステップ LED、コピー先トラックのステップ LED

シーケンス全体のコピー: **TRACK SEL** を押さえ、 **SOFT BUTTON 2**、コピー元の A から D ボタン、コピー先の A から D ボタン。全トラックがコピーされる

ミュート: シーケンスを選び、 **TRACK SEL** を押さえ、トラックのステップ LED を押し、 **SOFT BUTTON 4** mute on。もう一度行くと解除

トラック消去 **1.1**: **TRACK SEL** を押さえ、 **SOFT BUTTON 3** erase track、トラックのステップ LED を押す。または A から D を押すと、そのシーケンスの全トラックを消去

Notes off: シーケンサーをパラメーター専用にする。
トラック1で **TRACK SEL** を押さえ、**SOFT BUTTON 3**
notes off、続いて **MODE** gated。シーケンサーが他の
パラメーターを動かす間、自分でノートを弾く

seq params メニュー

ARPEGGIATOR で表示 (**SOFT BUTTON 2** seq params、
SOFT BUTTON 3 seq modes)。ガイドには **RECORD** で
の表示も書かれている

Play Source: Keyboard、Ext In、CV 1から4。Ext In
は入力オーディオ信号から再生を開始し、CV は対応
する CV ジャックから開始

Sync to Track 1: on はトラック1のステップ1で全ト
ラックを再開。Off は各トラックが自分の長さで進む

Restart: gated モードのみ。鍵盤を押すたびにステッ
プ1から再開

Para Seq: on でトラック1から3にコードを録音。
paraphonic on が必要

Seq Mode: normal または extended。Seq Length:
最大64ステップ

Seq Lock と Cue Program

Seq Lock: プログラムを切り替えても再生中のシーケ
ンスを保持する。保存すると、保存先プログラムの
シーケンスが上書きされる

Cue Program: 再生を開始し、**CUE PGM** を押さえ、
バンクとプログラムのノブでプログラムを選んで離
す。トラック1が最後のステップを再生した時点で読み
込まれ、シーケンスは続行する

シーケンスを別のプログラムにコピー: プログラムを
キューし、**WRITE** を2回押す。そのプログラムのシー
ケンスは上書きされる

他の機器への出力: midi arp/seq notes on **1.1** で、トラック1のノートを送れる

外部オーディオと CV

[↑ 目次](#)

外部オーディオの加工、MIDI クロックへの同期、モジュラー・システムの制御をしたい時に読みます。

外部オーディオ

Audio In、**HOLD** とキーで VCA が開く。オシレーターは 0。Ext Audio、アンプとフィルターのサステインを 127 に上げる

オートワウ: env follow を env vca amt (+120) と cutoff (+90) へ。In Gate Thresh 100、attack 5、release 38、cutoff 0、resonance 160

オーディオでトリガーするには Gate Source を Ext Audio、またはシーケンサーの Play Source を Ext In に

CV

CV Out 1をオシレーターの CV 入力へ。モジュレーション・スロット: ソース note number、デスティネーション cv 1 out、amount 127

チューニング: GLOBAL > cv out scale。範囲 0~10 V、中央の C は 5 V

5 V モジュール: cv out offset -64 で -5 V。-16 = -1.25 V、-32 = -2.5 V、-48 = -3.75 V

グローバル設定

[↑ 目次](#)

チューニング、MIDI、ペダル、カーブ、CV スケーリングの変更

やシステム・コマンドの実行時に読みます。

メニュー

GLOBAL、Soft Knob 1 でスクロール、Soft Knob 3 または Soft Button 1 で設定。OS 1.1.0.0 でタブを追加：General、MIDI、CV、Commands **1.1**

項目

1 Master Coarse Tune：-12～+12。2 Master Fine Tune：-50～+50

3 MIDI Channel：all または 1～16。4 Clock Mode。5 Clock Cable In。6 Clock Cable Out

7 Param Send、8 Param Receive：off、CC、NRPN (NRPN 推奨)。9 Control Enable。10 SysEx Enable、11 SysEx Cable

12 MIDI Out Select。13 Program Send、14 Program Receive。15 Arp/Seq Notes **1.1**。16 Arp Beat Sync

17 Local Control：all off、key/wheels off (パネルは有効のまま、鍵盤とホイールは無音、MIDI ループを避ける)、on

18 Mono/Stereo：stereo または mono。mono ではパン設定とパン・モジュレーションが無効

19 Pot Mode：relative、passthru、jump

20 Footswitch Polarity、21 Footswitch Function。22 Pedal Polarity (normal または reversed)

23 Pedal Function：lpf full はカットオフを全範囲で、lpf half は下半分で動かす

24 Aftertouch Enable、25 Curve 1～4。26 Velocity Curve 1～8。27 Scale (別チューニング、64種)

28～43 CV in と out の offset と scale：-127～+128。44 Screen Saver

45 Basic Program。46 Calibrate Wheels。47
Calibrate VCOs & Filters。48 Reset Globals
49～52 Dump program、bank、all user banks、
playlists

サウンド・レシピ

[↑ 目次](#)

ベース、ブラス、パッド、シンク・リード、ブラックの出発点
が欲しい時に読みます。

シンセ・ベース

GLOBAL ▶ basic program ▶ **SOFT BUTTON 1**

Cutoff 40、resonance 100、filter env amount 50。
低い音を弾く

フィルター・エンベロープの amount と decay を試
す。フィルターの release を長くするには、先にアン
プ・エンベロープの release を 75 にする

ソーは倍音が豊富、パルスは別の倍音構成、サインは
倍音がなく重みを足す、Osc 3 のスーパーソーは
Shape Mod でデチューンすると厚くなる

シンセ・ブラス

Basic program。Osc 2 level 127。両方のオシレー
ターをソーに、Osc 2 pitch -5

Osc 2 の shape タブ : osc slop 10

フィルター : cutoff 26、resonance 15、drive 100。

フィルター・エンベロープ : amount 105、attack
17、decay 64、sustain 50、release 90。velocity を
オン

Aux Env 1 destination は osc 2 coarse freq、amount
35、decay 20

クイック・アサイン： **AUX ENV** 1 ボタンを押しながら
Osc 2 の周波数ノブを回す

高めの音域で弾くとピッチのブリップが出る

ブラスから作るストリングス・パッド

PARAPHONIC をオン。3つのオシレーター・レベルを
すべて 127、すべてソー、octave 2

フィルター： cutoff 800、resonance 122。フィル
ター・エンベロープ：amount 12、attack 59、decay
75、sustain 67、release 71

アンプ・エンベロープ： attack 66、decay 62、
sustain 124、release 80

Effect 1 コーラス： mix 62、depth 131、rate 40、lpf
cutoff 127

Effect 2 フェイザー： mix 64、depth 179、rate 15、
feedback 255。mix 127 でさらに極端なフェージング

ハードシンク・リード

Basic program。Osc 2 level 127。両方のオシレー
ターをソーに。Osc 1 で sync、Osc 1 octave 1

Aux Env 1 destination は osc 1 coarse freq、amount
127、attack 23、decay 60、sustain 100、release
65

Effect 1 ステレオ・ディレイ： mix 30、time 135、
feedback 20、lpf 100

Effect 2 スーパープレート： mix 30、time 100、tone
138、pre-delay 12

Karplus-Strong 風ブラック

ミキサーのオシレーター・レベルをすべて 0 に

Aux Env 1 destination は noise、amount 127。
Attack 0、decay 45、sustain 0、release 16

Feedback amount 66、tuning 12

フィルター・エンベロープの attack と decay、
feedback amount、aux エンベロープの設定で音を整
える

トラブルシューティングとメンテナンス [↑ 目次](#)

音がおかしい時、またはキャリブレーション、プログラムの
バックアップ、サポートへの連絡時に読みます。

対処法

音が出ない：basic program、ボリューム、出力ケー
ブルを確認、local control をオン

アルペジオまたはシーケンサーが止まる：clock mode
は off か master に、またはクロックを受信させる

音が違う：scale は平均律に、モジュレーション・ホ
イールと clock mode を確認

ハム：USB のグラウンドループ。MIDI を使う

挙動が不安定：MIDI フィードバック・ループ、MIDI
Thru をオフに

チューニングが狂う：master coarse と fine を 0
に、VCO とフィルターをキャリブレーション

ホイールやスライダーが範囲外：ホイールをキャリブ
レーション

SysEx が動かない：midi sysex cable をポートに合わ
せる

キャリブレーション、リセット、バックアップ

GLOBAL > calibrate vcos & filters > start tuning。電
源を切らない

GLOBAL > reset globals > reset now。OS アップ
デート後に行う

プログラム、バンク、全ユーザーバンクを SysEx でダンプし、戻して復元

サポート：support@sequential.com。購入日、シリアル番号、OS バージョンを伝える

マニュアルの訂正

ガイド (v1.2) 内で記述が食い違う箇所

Resonance の範囲：フロントパネルの一覧では 0～255、pot mode の例では 0～254

CV 電圧：リアパネルの記述では CV ジャックは ± 5 V。CV 出力は 0～10 V

シーケンサーのトラック・メニュー：Soft Button 3 はガイドではノート、OS 1.1.0.0 の補足では erase track Scale 項目はチューニングを付録 C としているが、実際は付録 E にある

モジュレーション数：48ページでは34ソースと88デスティネーション。付録では46と171

NRPN 4096 と 4097 のラベルは入れ替わっているように見える。NRPN 4133～4136 はラベルが重複

MIDI リファレンス 付録 F

[↑ 目次](#)

CC と NRPN の番号、MIDI メッセージ、SysEx フォーマットが必要な時に読みます。

チャンネル・メッセージ

メッセージ	受信	送信
Note off	はい、ベロシティは無視	Yes
Note on	はい、ベロシティ 0 は note off	Yes

メッセージ	受信	送信
Polyphonic key pressure	Yes	記載なし
Control change	Yes	Yes
Program change	はい、現在のバンク内の 0~127	はい、現在のバンク内の 0~127
Channel pressure	Yes	Yes
Pitch bend	Yes	Yes
Timing clock, start, stop, continue	midi clock mode に従う	midi clock mode に従う

NRPN

NRPN メッセージ：CC 99 (パラメーター MSB)、CC 98 (パラメーター LSB)、CC 6 (値 MSB)、CC 38 (値 LSB) を送る。MSB は通常 0 か 1 で、2 を超えることはない。Pro 3 は最後の NRPN 番号を記憶しているので、データだけ送ればよい。CC 96 と 97 で値を上下でき、RPN リセット (CC 101 と 100) で選択中の NRPN を解除する。

プログラムの NRPN 全リスト (パラメーター 0~352) とグローバルの NRPN リスト (4096~4140) は、ユーザーズ・ガイドの付録 F にある。

特別な扱いのコントローラー

CC	受信時の扱い
1	モジュレーション・ホイール、直接アサイン可
4	フット・コントローラー、直接アサイン可
7	ボリューム、マスター・ボリュームとプログラム・ボリュームと合算
74	ブライツネス、フィルター cutoff に加算
32	Bank select : 1~4 がユーザーバンク 1~4、5~8 がファクトリーバンク 1~4、9~12 がアドオンバンク 1~4、それ以外は無視
64	ダンパー・ペダル : 64 以上でエンベロープをサステインに保持
123	オール・ノート・オフ
121	Reset all controllers : コントローラーを 0、MIDI ボリュームを最大に

CC	送信時の扱い
1	モジュレーション・ホイール
2	ブレス・コントローラー、ペダル/CV にアサイン時
4	フット・コントローラー、ペダル/CV にアサイン時
11	エクスプレッション、ペダル/CV にアサイン時
7	ボリューム、ペダル/CV にアサイン時とボリューム・ノブから
74	ブライトネス、ペダル/CV にアサイン時
32	Bank select、0～9
64	ダンパー・ペダル：0 でオフ、127 でオン

Control NRPN

NRPN	意味
4188	Seq play/stop、値 0～1
304	モーフのソース 1.2
305	モーフのターゲット・バンク 1.2
306	モーフのターゲット・プログラム 1.2
307	モーフのターゲット・モード 1.2
308	モーフの amount 1.2

コンティニュアス・コントローラー (MIDI Param Send または Receive を CC に設定)

CC	Parameter
0	Bank Select Coarse
1	Mod Wheel
2	Breath Controller
3	BPM
4	Foot Controller
5	Glide Mode (Portamento Time)
6	Data Entry MSB
7	MIDI Volume
8	Audio In Level
9	Audio In Gain
10	未割り当て
11	Expression
12	Voice Volume
13	Paraphonic On/Off
14	Slider 1 Position
15	未割り当て

CC	Parameter
16	FX 1 On/Off
17	FX 1 Type
18	FX 1 Mix
19	FX 1 Param 1
20	FX 1 Param 2
21	FX 1 Param 3
22	FX 1 Sync On/Off
23	FX 1 Sync Rate
24	FX 2 On/Off
25	FX 2 Select
26	FX 2 Mix
27	FX 2 Param 1
28	FX 2 Param 2
29	FX 2 Param 3
30	FX 2 Sync On/Off
31	FX 2 Sync Rate

CC	Parameter
32	Bank Select Fine
33	Filter Cutoff
34	Filter Resonance
35	Filter Keyboard Tracking Amount
36	Filter Drive
37	Filter Type
38	Data Entry LSB
39	未割り当て
40	VCA Env Amount
41	VCA Env Velocity On/Off
42	VCA Env Delay
43	VCA Env Attack
44	VCA Env Decay
45	VCA Env Sustain
46	VCA Env Release
47	Filter Env Amount
48	Filter Env Velocity On/Off
49	Filter Env Delay
50	Filter Env Attack
51	Filter Env Decay
52	Filter Env Sustain
53	Filter Env Release
54	Osc 1 Glide Rate
55	Osc 2 Glide Rate
56	Osc 3 Glide Rate
57	Swing
58	Arp On/Off
59	Arp Mode
60	Arp Range
61	Arp Relatch On/Off
62	Clock Divide
63	Arp Repeats

CC	Parameter
64	Sustain Pedal
65	Oscillator Glide On/Off
66	Osc 1 Octave
67	Osc 1 Fine Frequency
68	Osc 1 Level
69	Osc 1 Shape
70	Osc 1 Shape Mod
71	Osc 1 Sync On/Off
72	Osc 1 Slop
73	Noise Level
74	Brightness
75	Osc 2 Octave
76	Osc 2 Fine Frequency
77	Osc 2 Level
78	Osc 2 Shape
79	Osc 2 Shape Mod
80	Osc 2 Sync On/Off
81	Osc 2 Slop
82	Osc 3 Octave
83	Osc 3 Fine Frequency
84	Osc 3 Level
85	Osc 3 Shape
86	Osc 3 Shape Mod
87	Osc 3 LFO Mode On/Off
88	Osc 3 Slop
89	Feedback Amount
90	Feedback Tuning
91	Distortion Amount
92	Grunge On/Off
93	Ext In Env Follower Attack
94	Ext In Env Follower Release
95	Ext In Gain Threshold

CC	Parameter
96	Data Inc
97	Data Dec
98	NRPN Param LSB
99	NRPN Param MSB
100	RPN Param LSB
101	RPN Param MSB
102	Ladder Res Comp
103	State Variable Filter Mode (LP-Notch-HP)
104	State Variable Filter Normal/Bandpass
105	LFO 1 Freq
106	LFO 1 Amount
107	LFO 1 Shape
108	LFO 1 Sync On/Off
109	LFO 2 Frequency
110	LFO 2 Amount
111	LFO 2 Shape

CC	Parameter
112	LFO 2 Sync On/Off
113	LFO 3 Frequency
114	LFO 3 Amount
115	LFO 3 Shape
116	LFO 3 Sync On/Off
117	未割り当て
118	未割り当て
119	未割り当て
120	All Sound Off
121	Reset Controllers
122	Local Control On/Off
123	All Notes Off
124	Omni Mode Off
125	Omni Mode On
126	Mono Mode On
127	Poly Mode On